

1年生 ひびきあいの日

坂下高校では、学年ごとに「ひびきあいの日」を設け、人権について考える取組を行っています。1年生では、12月8日（金）の6時間目に、NPO法人「あゆみだした女性と子どもの会」理事長の廣瀬直美さんを招いて、講演会を開きました。講演会では、廣瀬さんより、「DVは重大な人権侵害犯罪」をテーマにお話をいただくことができました。

生徒は、『DVは親密な関係の中で起こり、相手を力で支配し思い通りにしたいという押しつけである』ということを理解し、相手を尊重することや自分のことは自分で決めることの大切さを学びました。

○生徒の感想

- ・3人に1人はDVを受けていると聞いてとても驚きました。好きになった人だから尚更、周りの人に言えなくて抱えてしまうのだと思いました。
- ・相手に嫌われるのや、関係が悪化するのが怖くて本当の気持ちが言えなかったりするけど、少しでも言わないと何も伝わらないことが分かりました。
- ・暴力を振るってしまうのには理由があると思うけど、手を出すのではなく、相手を尊重し話をしっかり聞いてあげたり話しあったりすることが大切だと思いました。
- ・自分ではDVではないと思っていても、DVをされていることがあるんだと思いました。
- ・友達がDVを受けていたらしっかり話を聞いて心のケアをしていきたいです。
- ・講演会で精神的暴力について知った時に、無関係ではないこと、私もする側になるかもしれないことが分かりました。
- ・人それぞれ価値観が違うので、相手の思いを尊重しながら生活していきたいと思いました。
- ・自分らしさを自分で選ぶということが大切だと分かったので、自分のことは相手ではなく自分の意志で決めていけるようにしたいと思いました。

[講話の様子]

